

## 地 域 再 生 計 画

- 1 . 地域再生計画の名称  
「光のまち阿南」～ L E Dを核とした雇用創出プロジェクト～
- 2 . 地域再生計画の作成主体の名称  
阿南市
- 3 . 地域再生計画の区域  
阿南市の全域
- 4 . 地域再生計画の目標

### 【地域の概要】

阿南市は、四国の最東端に位置し、東は紀伊水道、南は太平洋に臨み、四国山系の東端に連なる山地と那賀川がもたらした沖積平野からなり、総面積は279.39km<sup>2</sup>と広大な市域を有している。古くは城下町として栄えた富岡町周辺には中心市街地が、また臨海部の橘町には副都心的市街地が形成され、平成18年3月には隣接する那賀川町、羽ノ浦町と一市二町で合併し、人口は約8万人と徳島県内2番目となり、県南部地域の産業・経済・文化の中心都市としての責務を担っている。

### 【現状と課題】

阿南市は昭和39年の新産業都市の指定を契機として、辰巳工業団地や大湊工業団地等四国有数の工業団地を整備することにより、県内外の企業を誘致し第2次産業の振興に努め、県南随一の工業都市として発展するとともに、農林水産業など第一次産業の振興にも邁進してきた。その後、幾多の変遷を経て近年は、青色発光ダイオードの開発で世界的な脚光を浴びた地元企業の日亜化学工業(株)のLED製造部門が好調に業績を伸ばしている。

しかし、中心市街地の富岡商店街をはじめ各地域の商店街は、郊外型大規模店の進出やライフスタイルの変化による消費者の商店街離れにより、急速に衰退し廃業する店が相次ぎ、また従来の地場産業で地元雇用に大きな役割を果たしてきた製材・缶詰・縫製業などにおいても、産業構造の変化に対応できず倒産・廃業が続出し深刻な問題となっている。さらに、大手企業においても人員削減方針が打ち出されるなど、管内の有効求人倍率は0.45倍(平成19年4月)と雇用情勢は非常に厳しく、今後の団塊世代の動向も含め激増が予想される求職者に対して、新たな産業の創出と早急な雇用対策が喫緊の課題となっている。

こうしたなか、平成15年、青年会議所の有志や各種ボランティア団体等が、地元企業が開発し世界に誇れるLEDを活用して実施した「光のイルミネーション」イベントが大きな反響を呼び、同年「阿南光のまちづくり協議会」を設立するに至り、同協議会が主体となって開催した数々の「光のイベント」や商店街や公園等の社会資本を利用したLED電飾事業は「LED発祥の地・光のまち阿南」を全国的に情報発信することに寄与し、今やLEDは阿南市の代名詞となりつつある。

阿南市はこれを契機に、LEDの「光」を産業振興や文化創造の起爆剤として位置づけ、産官学連携のもと様々な取組を行ってきたが、新たな産業や雇用の創出まで至っていないのが現状である。その理由として、LEDの特性や応用方法についての知識が事業主や創業希望者に十分浸透していないことが上げられ、一刻も早く「LEDを知る」「LEDをこなす」「LEDを売る」ことのできるリーダーや関連技術者の養成が最重要課題となっている。

#### 【目標】

阿南市は、四国電力(株)・電源開発(株)の石炭火力発電所に代表されるように電力発電量屈指の「まち」であり、また青色発光ダイオードを発明・実用化した日亜化学工業(株)があることから、「エネルギーのまち」すなわち「光のまち」であるといえる。

「光」とは、第一次産業・第二次産業・第三次産業すべての産業を包括する総合産業である「観光」の語源にあるように「地域の秀れた特色のあるもの」であり、それはとりもなおさず、本市における工業製品である「LED」、農産物である「ハウスみかん」、水産物である「鱧」、「海ぶどう」など「特色ある地域資源」全てを意味するものである。

この地域再生計画では、次世代の光源といわれるLEDの「照らす」・「飾る」・「映える」・「防ぐ」・「促す」といった機能を広く事業主、創業希望者や求職者に知らしめ活用させるとともに、LED関連企業100社の集積を目標とする徳島県における「LEDバレイ構想」やLED中堅技術者の養成を目標とする阿南工業高等専門学校の「徳島県南部LED関連技術者養成拠点形成計画」と連携し、阿南市にしかない様々な「光」にスポットを当て、独自の取組みも拡充しながら、産・官・学・市民が一体となって新しい地域産業、雇用創造の大きな波動を起こし、地域全体の活性化に貢献することを目標とする。

具体的には

LED活用のための人材不足の解消

LEDの機能を応用した製品が農林水産業、鉱工業、医療、観光やまちづくり等の面において市場投入され始め、活用範囲は複雑・多岐に渡り認められているにもかかわらず、電飾デザイナー、応用製品を製造する製造技術者、関連部品の開発技術者や農林水産業への普及技術者が養成されていないため、それらの人材を養成する。(阿南工業高等専門学校と連携)

既存企業のLED関連部門の開発支援

中小企業がそれぞれの「強み」を持ち寄り、その経営資源(技術・マーケティング・商品化等)を有効に組み合わせ、新事業を行うことにより、新市場創出、製品・サービスの高付加価値を目指す取り組み、新事業展開を行う新しいビジネスモデルを確立する。

LED等を活用した新規企業の誘致

阿南市が「光のまちづくり事業」を強力に推進しているという地域特性を活かし、市場に出す前の新商品や新オブジェの制作などの設置等を試験的・優先的に行える環境づくりや人づくりを構築し、徳島県LEDバレイ構想と連携しながら新規企業の誘致を推進する。(徳島県と連携)

地域資源を利用した創業・事業拡大に対する企画提案型人材不足の解消

地域の多様性を持つ資源とLEDの特性に関する情報とがマッチングすることを創業

希望者や独立願望者に周知されていないために、創業・事業拡大のチャンスを逃し、雇用の拡大に繋がっていないことから、事業戦略や販売戦略を企画立案できる人材を育成する。

#### 商品開発力・販売力に関するノウハウ不足の解消

工業製品の応用・一次製品の加工・サービス商品の開発などを行っている現在の事業者、従業員や販売員などは、魅力ある広報資料、包装表示、ネーミング、接遇などに関する知識やノウハウを持った人材が不足しているため、それらの人材を育成する。

#### 観光分野における包括的な人材の育成

近年の観光の形態もグリーンツーリズム、体験漁業等のアウトドア体験観光、LEDオブジェを制作する体験工房やエコツーリズムといった少人数を対象とした新しい形のニューツーリズムが脚光を浴びようになってきており、観光分野に携わる人材は多種多様の包括的な知識や経験が必要となったため、それに対応できる人材を育成する。

#### 企業や個人事業主の積極的なICT社会への参入を促す人材の育成

新ビジネス、新サービスのシーズや社会的ニーズの存在をビジネスチャンスと捉え、いつでもどこでも快適なネット利用ができる社会資本が整備されており、企業や個人の活力を生かせるにもかかわらず、十分にその活用がされていないため、それを活かす人材を育成する。

#### 高齢者の雇用環境の確立

2012年には団塊の世代が65歳に到達し、意欲と能力があれば「高齢まで働ける」雇用機会の確保が求められていることから、高齢者雇用措置の円滑な実施及び高齢者の能力と働く場のミスマッチの解消に努める。

#### 雇用及び創業に関する数値目標

	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
雇用人数（人）	110	192	325
うち新規創業数（社）	2	3	7

### 5 . 目標を達成するために行う事業

#### 5 - 1 全体の概要

阿南市は、LEDという独自の「地域資源」を活用して産業の活性化と雇用を創出するために必要な技術者や経営者の育成と地域求職者の就職促進を目的としており、企業・経済団体・行政・教育機関が連携して、広範囲に事業を展開する。

青色発光ダイオード発祥の地であり、大型工業団地や阿南工業高等専門学校が存在、徳島県南部商業圏の中心地である有利な立地条件やポテンシャルを活かしながら「地域雇用創造推進事業(新パッケージ事業)」をはじめとする国の多様な支援や市独自の施策、産官学連携の取組を有機的に活用し、LED関連産業を中心とした創業と技術開発、販路拡大などへの支援 地域資源を活用できる企画力のある人材の育成 地域求職者の能力開発と就職促進のための事業を実施し、地域産業、雇用の再生を図る。

## 5 - 3 その他の事業

### 5 - 3 - 1 基本方針に基づく支援措置

#### 【B0902】地域雇用創造推進事業

実施主体 阿南市地域雇用創造協議会  
(構成員) 阿南市、阿南商工会議所、那賀川商工会、羽ノ浦商工会、阿南農業協働組合、阿南市水産振興会、富岡商店街協同組合、有識者(阿南信用金庫 理事 佐竹 義治、藤崎電機(株) 代表取締役 藤崎 稔、阿南工業高等専門学校 制御情報工学科 宮城 勢治、徳島県南部総合県民局 局長 美馬 茂)

実施年度 平成19年度から平成21年度

#### 事業内容

##### (1) 雇用拡大メニュー(事業主を対象)

###### 新分野進出・新ビジネスモデル創造セミナー

LED、新エネルギー関係(バイオマス)、農業分野、観光分野などの業種を対象に、各分野の専門家を招き、不況業種からの新分野進出や新規創業についての研修を実施する。

###### 事業主向けICT講座

参加企業を業種ごとに分類し、業種ごとの先進事例、有用性や取り組み方法等について専門家の研修を実施する。

##### (2) 人材育成メニュー(地域求職者を対象)

###### 創業セミナー・相談事業

地域資源、商店街空き店舗やLEDを利用して創業を希望する人や独立願望のある人に対して、産業別業種別に専門の講師や経験者による創業前研修の実施及び創業相談窓口を設置し、創業の手法、営業方法など、各種助成金の紹介や金融等についての創業相談を実施する。更に、創業・独立に伴い必要とする人事・労務管理・就業規則等についての相談に対し、社会保険労務士が助言・指導を行う。

###### 企業価値創造能力アップ事業

マーケティング、マーチャンダイジング、マネジメントなどの基礎能力向上、ICT活用、CSRなど専門力向上を目指した講座を開設し、求職者、U・I・Jターン者などで幹部社員を目指す人の企業価値創造力をアップし、即戦力者を育成する。

###### 特産品付加価値向上能力養成研修

独自商品や特産品の販売に関する専門家を招いてネーミング、パッケージデザイン、表示、衛生上の注意事項などに関する研修を実施する。

#### ITスキルアップ講座

一般求職者に対して、それぞれのIT習熟度合に応じて学習できるIT講座を開講し、就職に必要なITスキルアップを図る。

#### ネット社会対応能力養成講座

求職者に対し、伝統産業や地場産業の新たなビジネスシーズを情報通信網を活かし顧客開拓や販売促進を行う経営革新の手法や創意・工夫でネットを利用した新ビジネス・新サービスの開発手法の講習、データのやり取りや機器の利用が自在に可能な講習、企業間や地域住民と連携した企業や地域の活性化手法のような講習をインストラクター、講師を招き、演習や機器を使用して実習形式で行う。

#### 技術者等派遣研修等育成事業

求職者に対して企業の望むような技術や新商品開発ができるリーダー能力を取得できるように先進地の企業や研究機関に派遣し、より高度な専門技術者を育成する。

### (3) 就職促進メニュー

#### 就職面接会の開催

新パッケージ事業に参加した地区内の企業と一般求職者や学生との「就職面接会」の開催を行う。

#### 新パッケージ事業紹介事業（求職者への情報提供、相談等）

新パッケージ事業で行う事業の内容の詳細を項目別に作成しホームページや広報誌で求職者に紹介する。また、UIターン希望者に当該事業への参画促進のための情報提供等を行う。さらに、求職者へ新パッケージ事業による訓練、研修・講習等の情報提供を行う。

## 5 - 3 - 2 独自で行う事業

### 1 . 連携予定の基本方針に基づく支援措置

#### 【B0801】科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム

「徳島県南のLED関連技術者養成拠点の形成」

実施主体 阿南工業高等専門学校

実施年度 平成19年7月～平成24年3月

事業内容 阿南工業高等専門学校、徳島県、阿南市が連携してLEDに関心を持つ人材を受け入れ教授し、LED関連の新規事業に取り組める人材を育成創出する。

### 2 . 地域再生基本方針に基づく支援措置によらない取組

#### 【まちづくり交付金事業】の活用

国土交通省のまちづくり交付金事業の提案型事業として、地域創造支援事業（商店街電飾事業）を平成17年度から実施し、中心市街地である富岡町の社会資本等にLED電飾しており、中心市街地の活性化に寄与する事業を実施するものである。

#### 【阿南光のまちづくり事業】の展開

中心市街地の活性化等を図るために、地元企業が開発した産業資源の有効を有効に活用し地域の社会資本にLEDイルミネーションを行うとともに、ハード・ソフト様々なイベントを地域住民と協働して実施し「元気で・明るく・誇りある」まちづくりを目指す事業を実施するものである。

#### 【合併市町村電飾事業】

平成18年3月の一市二町の合併に伴い、衰退しつつある羽ノ浦商店街等の街路灯をすべてLEDの街路灯に換え、全国に類の無い又観光資源の一つにもなる街路灯を整備する事業を実施するものである。

#### 【基板開発等委託事業】

常設に耐えうるLED基板の開発や斬新なLEDオブジェの創作を阿南工業高等専門学校に委託する事業を実施するものである。

#### 【光のまちステーションプラザ運営委託事業】

「光のまち阿南」や観光・物産等の情報発信基地となり又LED企業の新商品発表の場、更には気軽にLEDが体験できる場として、官民一体となり当該施設を運営して行く事業を実施するものである。

#### 【チャレンジショップ運営事業】

起業家を目指す者たちが、中心市街地の空き店舗などを利用して、体験的に事業を行う事業を実施するものである。

**【活竹祭の開催】**

本市の産業振興特に農林水産物（竹・筍など）中心の新規特産品の開発・発見の場として又観光資源の一つとして、地元企業を中心として地場産品を住民の方々に披露するための事業を実施するものである。

**【まちめぐりナビゲーション事業】**

観光案内版の未整備やより一層のニーズに副った情報を提供するために、QRコードを活用したパンフレットを整備し、それを読み取ることによって目的地まで到達できるという自動車ナビゲーションシステムを徳島県南部広域圏において実施する事業を行うものである。

**【観光地域づくり実践プラン】**

「地域の光・人の光・未来の光をみいだす観光地づくり」をテーマに地域資源を最大限に活用しながら、地域の幅広い関係者が一体となって観光地づくりを推進する予定である。

**6．計画期間**

認定の日から～平成22年3月末まで

**7．目標の達成状況に係る評価に関する事項**

地域再生計画の目標については、計画終了後（各年度ごと）に、事業実施主体である阿南市雇用創造推進協議会において、事業を実施した企業数、求職者数、起業化した法人数、新規の雇用人数を検証し、また研修参加者及び利用者のアンケート調査により目標達成度状況について把握・評価を行い事業実施の効率化などについて改善見直しを行う。

**8．地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項**

該当無し

## 添付書類の一覧

- ( 1 ) 地域再生計画に含まれる行政区画を表示した図面
- ( 2 ) 目標となる地物及び地域再生の区域を表示した付近見取り図
- ( 3 ) 地域再生計画の工程表及びその内容を説明した文書
- ( 4 ) 地域再生計画の全体像を示すイメージ図



( 1 ) 地域再生計画に含まれる行政区画を表示した図面



( 2 ) 目標となる地物及び地域再生の区域を表示した付近見取り図



